

## 社長所感（6月末）

社長所感をご愛読いただき、ありがとうございました。

「ご愛読」というのも、妙な表現ですが、時折、「所感、見てますよ。」とか「面白いですね。」とか「毎月、楽しみにしていますよ。」とか、リップサービスもあるのですが、言ってくる方々がおられるものですので……。

私は、2年余の任期を終え、この6月末で辞任することとなりました。このため、社長所感も今回が最終となります。

この2年余の間に、社屋移転、弊社設立40周年（平成30年3月）に向けての経営基盤の確立ができたほか、新規保険の開拓など業績も順調に拡大してまいりました。

これも、ひとえに皆様方のご協力のお蔭と厚く御礼申し上げます。

先日、京都の高雄三尾（高雄にある尾のつく3つの山）を駆け足で巡ってきました。緑が鮮やかで、

「高山寺青もみじ散る苔の径」（鳥獣戯画で有名な梅尾の高山寺にて）

「万緑を裂くや一条白き滝」（槇尾の西明寺にて）

「青嵐投げしかわらけ山に舞ふ」（高雄（尾）の神護寺にて）

と、つい駄句を詠んだところでしたが、薄い緑から濃い緑まで、さまざまな緑の豊かさに感動いたしました。

この京都の緑、特に若葉の緑が好きだったのが、「経営の神様」と呼ばれた松下幸之助さんです。それで、若葉の美しい京都にPHP研究所を造ったと聞いています。

そのPHP研究所が、松下幸之助さんの「指導者の条件—人心の妙味に思う—」という本を出版（昭和50年12月）しています。

内容は、古今東西のリーダー達（ソクラテス、聖徳太子～上杉鷹山～ケネディ）の言動を指導者の条件という観点から幸之助さんが分類、解説したもので

- ・指導者のものの考え方（企業は天下のもの。志を持つ）
- ・自分を高める（カンを養う。心を遊ばせない）
- ・あやまちを少なくする（諫言をきく。感謝する）
- ・難局に処するために（覚悟を決める。ダム経営）などの項目からなっています。

私は、この書を、拳拳服膺していましたが、「意あって力足らず」で、十分に経営に活かすことができなかつたのでは……、と懸念しています。

いずれにいたしましても、非力にもかかわらず、上述したような一定の成果を上げることができましたが、これもひとえに、みな様の弊社へのご理解、ご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

みな様の今後のご健勝ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平谷 英明